

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和4年10月7日(2022.10.7)

【公開番号】特開2021-45217(P2021-45217A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2019-167851(P2019-167851)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 63 F 7/02 320

【手続補正書】

【提出日】令和4年9月29日(2022.9.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、

前記表示手段の前面に設けられる複数の可動部材と、を備える遊技機であつて、

前記複数の可動部材は、前記前枠を覆うことなく所定の位置へ移動して集合可能であり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第1特定の可動部材の発光態様と前記前枠の発光態様とが同一の発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第2特定の可動部材の発光態様と前記前枠の発光態様とが異なる発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、集合した状態でさらに作動し、その後、集合した状態が解除される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

[適用例1]

前枠に形成される開口部を介して視認される表示手段と、

40

前記表示手段の前面に設けられる複数の可動部材と、を備える遊技機であつて、

前記複数の可動部材は、前記前枠を覆うことなく所定の位置へ移動して集合可能であり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第1特定の可動部材の発光態様と前記前枠の発光態様とが同一の発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、前記複数の可動部材のうち第2特定の可動部材の発光態様と前記前枠の発光態様とが異なる発光態様となり、

前記複数の可動部材が集合すると、集合した状態でさらに作動し、その後、集合した状態が解除される、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

10

20

30

40

50